



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場会社名 焼津水産化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2812 URL http://www.yskf.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 和広
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部 経理部長 (氏名) 大勝 利昭 (TEL) 054-202-6044
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	5,170	△1.8	394	8.4	391	△0.7	249	5.9
24年3月期第1四半期	5,264	△7.1	363	△15.7	394	△15.1	235	4.4

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 203百万円(△12.9%) 24年3月期第1四半期 234百万円(48.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	17.73	—
24年3月期第1四半期	16.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	21,464	17,868	83.3
24年3月期	21,493	17,833	83.0

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 17,868百万円 24年3月期 17,833百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	10.00	—	12.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,155	△1.0	660	16.9	680	13.0	380	7.0	27.04
通期	20,720	1.6	1,465	12.7	1,505	8.9	855	28.1	60.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 当第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期1Q	14,056,198株	24年3月期	14,056,198株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	5,589株	24年3月期	5,589株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期1Q	14,050,609株	24年3月期1Q	14,050,847株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から持ち直しつつあるものの、ユーロ圏の財政問題による海外経済の減速懸念に加え、円高、株安、消費税増税の動きなどもあり、先行きは不透明な状況で推移しました。

食品業界におきましても、原材料価格の高い状況が続くなか、消費者の生活防衛意識や節約志向が続いており、依然として厳しい収益環境が続いております。

このような中、当社グループは3カ年中期経営計画「Challenge & Growth」（挑戦と成長）の最終年度にあたり、利益を重視した筋肉質な収益構造を構築しつつ、事業拡大に向けた施策を遂行してまいりました。また事業継続計画（BCP）の一環で新工場用地を取得し、災害に強い体制作りを進めるなど経営基盤の強化にも取り組みました。

具体的には、既存事業の深化、新商品・サービス開発、新規顧客開拓、新事業領域開拓の4つの切り口で、生産効率の改善や経費削減に取り組みつつ、既存得意先への営業強化、価格競争力のある商品開発、農業分野をはじめとする他分野への仕掛け等を進めております。事業別では、調味料事業は低価格志向の市場に対応した商品を投入し、得意とする水産系調味料の更なるシェアアップを図りました。機能食品事業では新タイプのコラーゲンを市場に投入し新たなマーケットの開拓を行いました。海外事業は、依然として円高により輸出は厳しい状況が続いておりますが、子会社の大連味思開生物技術有限公司と連携した中国企業向けの商品開発や営業強化を進めるなど、新興国の需要獲得に取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前期に震災の影響で一時的に増加した医療栄養食の需要が剥落し、51億70百万円（前年同四半期比93百万円、1.8%減）となりました。利益面におきましては、前期に実施した事業構造改革による製造経費、販管費の削減により原材料費の上昇をカバーし、連結営業利益は3億94百万円（同30百万円、8.4%増）となりました。連結経常利益につきましては匿名組合投資損失等を計上したことから3億91百万円（同2百万円、0.7%減）、連結四半期純利益は2億49百万円（同13百万円、5.9%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(調味料)

調味料は、国内消費の伸び悩みから需要は頭打ちの状況にありますが、当社が得意とする水産系調味料の拡販に注力するとともに、不採算製品の見直しを進めました。

この結果、調味料の売上高は20億32百万円（前年同期比10百万円、0.5%減）、セグメント利益（営業利益）は3億2百万円（同74百万円、32.8%増）となりました。

(機能食品)

機能食品は、デフレ環境下で厳しい価格競争が続いているなか、医療栄養食で前期に震災の影響から一時的な需要増があった反動で売上、利益ともに伸び悩みました。

この結果、機能食品の売上高は18億31百万円（同1億96百万円、9.7%減）、セグメント利益（営業利益）は2億39百万円（同35百万円、12.8%減）となりました。

(水産物)

水産物は、主に冷凍鮪・冷凍鯉の原料販売並びに加工製品の製造販売です。売上は鮪の販売が好調に推移しましたが、前期から続く原料高や設備投資による償却等の経費増により増収減益となりました。

この結果、水産物の売上高は8億76百万円（同1億66百万円、23.4%増）、セグメント利益（営業利益）は25百万円（同4百万円、14.0%減）となりました。

(その他)

その他は、各種ワサビ類他香辛料の製造販売、その他商品の販売ですが、販売ルートの見直しや原料費上昇の影響があり、売上・利益ともに貢献出来ませんでした。

この結果、売上高は4億30百万円（同52百万円、10.9%減）、セグメント利益（営業利益）は18百万円（同5百万円、23.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産の総額は、前連結会計年度末に比べ28百万円減少し214億64百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が10億32百万円、有価証券が2億59百万円減少したことなどにより9億79百万円減少し、113億47百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券が株価の下落等により1億8百万円減少した一方、工場用地の取得により土地が10億99百万円増加したことなどにより9億50百万円増加し、101億17百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が1億59百万円、賞与引当金が1億16百万円増加した一方、未払法人税が2億4百万円減少したことなどにより38百万円減少し、32億6百万円となりました。

固定負債は、長期未払金が17百万円減少したことなどにより25百万円減少し、3億89百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が80百万円増加したことなどにより、35百万円増加し、178億68百万円となりました。

この結果、自己資本比率は83.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月11日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,913,642	2,881,242
受取手形及び売掛金	4,925,408	5,010,746
有価証券	360,247	100,341
商品及び製品	1,526,239	1,670,604
原材料及び貯蔵品	1,361,965	1,497,550
繰延税金資産	110,006	113,920
その他	134,470	78,908
貸倒引当金	△5,300	△6,300
流動資産合計	12,326,680	11,347,013
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,559,033	2,530,379
機械装置及び運搬具（純額）	1,294,005	1,231,135
土地	2,394,450	3,493,450
リース資産（純額）	52,658	52,518
建設仮勘定	4,576	41,265
その他（純額）	73,572	78,197
有形固定資産合計	6,378,296	7,426,947
無形固定資産		
投資その他の資産	222,137	206,468
投資有価証券	2,087,935	1,979,279
繰延税金資産	106,363	145,305
その他	379,377	366,778
貸倒引当金	△7,756	△7,756
投資その他の資産合計	2,565,919	2,483,607
固定資産合計	9,166,353	10,117,022
資産合計	21,493,033	21,464,036

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,955,154	2,114,156
短期借入金	25,817	15,888
1年内返済予定の長期借入金	70,000	70,000
リース債務	16,829	17,580
未払法人税等	353,004	148,034
未払消費税等	77,760	45,013
賞与引当金	134,528	251,152
役員賞与引当金	—	4,500
その他	611,915	539,832
流動負債合計	3,245,010	3,206,159
固定負債		
リース債務	44,278	42,949
繰延税金負債	18,390	18,139
退職給付引当金	307,863	302,789
長期未払金	31,996	14,678
その他	11,895	10,465
固定負債合計	414,424	389,022
負債合計	3,659,434	3,595,181
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,617,642	3,617,642
資本剰余金	3,414,133	3,414,133
利益剰余金	10,786,294	10,866,738
自己株式	△6,101	△6,101
株主資本合計	17,811,969	17,892,414
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	83,732	12,801
為替換算調整勘定	△62,103	△36,361
その他の包括利益累計額合計	21,629	△23,559
純資産合計	17,833,598	17,868,854
負債純資産合計	21,493,033	21,464,036

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	5,264,520	5,170,938
売上原価	4,002,918	3,908,908
売上総利益	1,261,602	1,262,029
販売費及び一般管理費	897,746	867,592
営業利益	363,856	394,436
営業外収益		
受取利息	900	852
受取配当金	23,695	25,135
受取賃貸料	4,488	4,483
その他	21,713	9,317
営業外収益合計	50,798	39,789
営業外費用		
支払利息	185	45
匿名組合投資損失	16,743	31,691
為替差損	1,937	7,052
その他	1,603	4,077
営業外費用合計	20,470	42,866
経常利益	394,183	391,358
特別利益		
固定資産売却益	238	6
国庫補助金	—	6,160
特別利益合計	238	6,166
特別損失		
固定資産除却損	700	311
災害による損失	—	1,015
固定資産圧縮損	—	6,118
特別損失合計	700	7,445
税金等調整前四半期純利益	393,721	390,079
法人税等	158,623	141,027
少数株主損益調整前四半期純利益	235,097	249,051
四半期純利益	235,097	249,051

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	235,097	249,051
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,266	△70,931
為替換算調整勘定	13,210	25,742
その他の包括利益合計	△1,056	△45,189
四半期包括利益	234,041	203,862
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	234,041	203,862
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

〔セグメント情報〕

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,042,918	2,027,461	710,625	4,781,005	483,515	5,264,520	—	5,264,520
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	3,138	5,584	4,325	13,049	38,806	51,855	(51,855)	—
計	2,046,057	2,033,045	714,951	4,794,054	522,321	5,316,376	(51,855)	5,264,520
セグメント利益	227,670	275,002	29,354	532,028	24,668	556,696	(192,840)	363,856

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種ワサビ類他香辛料、その他商品であります。

2. セグメント利益の調整額192,840千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,032,362	1,831,155	876,712	4,740,230	430,707	5,170,938	—	5,170,938
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	2,557	1,156	1,913	5,627	27,717	33,345	(33,345)	—
計	2,034,919	1,832,311	878,626	4,745,858	458,425	5,204,283	(33,345)	5,170,938
セグメント利益	302,408	239,737	25,249	567,396	18,929	586,325	(191,889)	394,436

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種ワサビ類他香辛料、その他商品であります。

2. セグメント利益の調整額191,889千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。